

令和8年度 第1回井戸端カフェ

令和8年6月19日 in 市役所2階大会議室

『重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちの生活について語り合おう③』

重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちの生活について語り合う場として3年目、20名の参加がありました。

前半は社会福祉法人 泉学園の共同生活援助
管理者 河本様から、長年グループホームに携わっ
てこられた経験から、現状や課題についての情報
提供がありました。

- グループホームの日課
- グループホームの数や利用者の状況
- 「脱施設化」とは「個の暮らし」が保障されること
- 制度上の制約や人員配置基準があるなかで、一人一人の個別性を尊重した生活をいかに実現するか
- 「当たり前の暮らし（普通の家っぽさ）」をどうすれば作り出せるか
入居者や支援者の意見を聞きながらそれぞれに工夫をしている



講師もテーブルをまわり助言

井戸端カフェ



話すのが苦手な人は
聞くだけ、ふせんに想いを貼るでもOK!



会話を楽しむのが
井戸端カフェのエチケット(^^)



参加者からの感想



- 心おだやかに、安心して暮らせる場の提供を考えていけるといいなと思いました。
- 普段、重心、難病、GH入所者等の支援を直接しているわけではないので、当事者の方や支援員からのお話を聞くことができ、貴重な経験になりました。
- グループホームの現状や個別支援（質を大切にされているのだと）の必要性など勉強になりました。当事者の方が集まる場所があるといいという言葉・・・本当にそうだなと。
- 当事者の具体的な話、施設側の苦勞している話、両面を聞くことができたのでよかったです。